

**【研究課題名】**

パーキンソン病に対する集学的リハビリテーションプログラム(LSVT®)が運動機能と睡眠に与える短期及び長期の影響の評価

**【研究機関】**

大阪回生病院 脳神経内科

**【研究責任者】**

田端 宏充

**【研究の目的】**

パーキンソン病に対する集学的リハビリテーションプログラム(LSVT®)が、どれくらい長期にわたって効果を保てるのか、どのような患者において効果が高いのか、また睡眠を中心とした非運動症状にどれほど効果があるのかを明らかにし、パーキンソン病の長期管理におけるリハビリテーションの重要性を示すことを目的とする。

**【研究の方法】**

本研究では、平成30年4月1日から令和10年12月31日までに、当院のLSVT®プログラムに参加いただいた患者さんの診療録を後ろ向きに情報収集・解析を行う。新たな資料の採取は行わない。

**【個人情報の取り扱い】**

利用する情報からは、お名前・住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

**【問い合わせ先】**

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-6-10

大阪回生病院 脳神経内科 田端宏充

電話 06-6393-6234